

施工段階		下地・間仕切り		6	設備工事： 天井割付と設備器具	シート番号 6-1			
電気	空調	衛生	その他						
○	○	○	—						

ポイント

■天井割付図

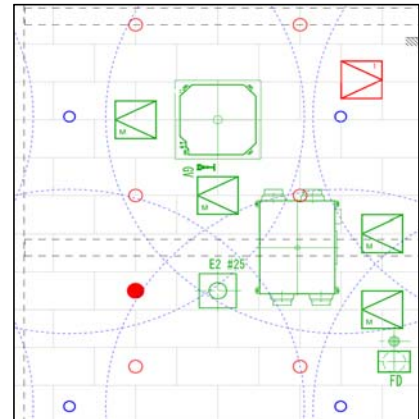
- 天井割付図は該当室天井に対し、基準点を設け天井材のサイズにより割付を行った図面です。

■天井割付図へのプロット

- 設備機器、器具類を天井割付図に対し、その機器の機能や法的条件を満たした位置にプロットします。必要な点検口位置も同時にプロットします。
- 機の配置や什器備品の配置、人の動線も考慮します。
- できるだけ目地を意識して位置を決めることが見栄え上のポイントです。

■天井割付図上での取り合い調整

- 建築、電気、機械で1枚の図面にプロットし調整を行います。
- 天井内部の納まりから、空調機等の梁の位置などにより物理的に設置位置が限定されるものを優先し、照明器具など面全体に同じパターンでの設置が必要なものとのバランスをとります。さらに、客先設置の別途工事機器等も考慮に入れながら調整します。
- PAC類は点検口のサイズ・位置が指定されているので納入仕様書で必ず確認して割付図に反映します。
- スプリンクラーヘッドや自火報感知器、非常照明など法的条件を満たした位置になっているか確認します。
- 必要な点検口が兼用できないかも検討します。



プロット図



同上完成写真

先輩アドバイス

- シート6-2に記載の天井内設備工事を行う前に実施します。
- 点検口上部にはメンテナンスに支障のない空間とフィルター等の引き抜きスペースがあるか確認が必要です。
- 目地にこだわりすぎると、適正な配置ができない場合があります。

チェック項目

- 室用途に応じ、機の配置や動線を確認しましたか。
- 別途工事や施主側での後付機器類も考慮してチェックをしましたか。
- 機器、器具類の配置は機能を満たしていますか。

失敗すると...

- バランスの悪い器具配置となったり、照度や空調にムラが発生するなどのクレームの原因になります。
- 仕上工事の終了した天井のやり直しなど、大きな手戻り工事が発生します。



引き抜きスペース

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
	○	○	○	○	—	—	—	—	○
備考	参考文献：						制定	2019年3月1日	
	参考メーカー：						改訂		